

北九州まちづくり応援団株式会社

I 法人の概要（平成 26 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 伊藤 健二
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.1%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	0 人	0 人	0 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職員	42 人	0 人	0 人	42 人

II 平成 25 年度事業実績

小倉及び黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のため、従来の①北九州市中心市街地活性化基本計画（小倉・黒崎）掲載の事業、②賑わいづくり事務局業務、③北九州市からの受託事業、④指定管理業務、⑤「ニューながしまフード」事業、⑥「サンリオ小倉ビル」事業を実施した。

このうち、小倉地区における「こくらハローズ」、「インフォメーション事業」、「おもてなしトイレ」、「共通駐車券事業」など、中心市街地活性化基本計画に掲げた事業等に取り組み、概ね予定通りの活動ができ、中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与できた。

また、「北九州市からの受託事業」については、委託料収入の減額に伴い新たな補助金を活用するとともに、人員削減に伴う経費節減などにより、利益の確保に努めた。

さらに、「指定管理者業務」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、1 年間を通じて様々なイベント・講習会等を開催してきたものの、小倉城の耐震工事に伴う半年間の休館による影響や、桜まつりが降雨によりほとんど売上がなかったことなどにより、事業別の損益が前年度を下回った。

その他、黒崎地区熊手の「ニューながしまフード」においては、近隣の大型商業店舗のオープンなどにより、厳しい事業運営を迫られているものの、商店街イベントへの積極的な参加や品揃えの見直しなどによって、若干の黒字確保ができた。

また、小倉地区魚町の「サンリオ小倉ビル」については、1 階テナントの「カルディー」の来店者が順調に推移し、安定的な賃料を得ることができた。また、2 階テナントの「ママトモ」では、商店街と連携したイベントなどを通じて PR 活動を行い、徐々に有料託児人数が増加している。3 階の多目的スペースについては、子育て支援講座などへの貸出しを推進したことにより、利用件数が増加するとともに、講座期間中の「ママトモ」への有料託児人数の増加につなげることができた。

これらの結果、当期純利益は、約 438 万円の黒字を計上し、前年度と同規模の純利益を確保することができた。

Ⅲ 平成 25 年度決算

1 貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	67,146,068	【流動負債】	32,510,752
現 金	386,330	買 掛 金	1,864,969
預 金	22,013,917	未 払 費 用	7,475,426
売 掛 金	462,400	未 払 法 人 税 等	2,460,400
商 品	2,610,887	預 り 金	5,232,047
貯 蔵 品	1,230,987	仮 受 金	13,200
前 払 費 用	2,310,000	未 払 消 費 税	2,443,000
未 収 入 金	9,980,920	小 倉 城 関 連 負 債	10,021,710
小 倉 城 関 連 資 産	28,150,627	預 り 敷 金	3,000,000
【固定資産】	12,197,928	【固定負債】	9,344,000
(有形固定資産)	(7,854,928)	長 期 借 入 金	9,344,000
建 物	4,660,857	負債合計	41,854,752
建 物 附 属 設 備	3,194,071	(純資産の部)	
(投資その他の資産)	(4,343,000)	【株 主 資 本】	38,389,244
投 資 有 価 証 券	60,000	資 本 金	32,000,000
出 資 金	10,000	(利益剰余金)	(6,389,244)
差 入 保 証 金	1,153,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	6,389,244
敷 金	3,120,000	繰 越 利 益 剰 余 金	6,389,244
【繰延資産】	900,000	純資産合計	38,389,244
入 会 金	900,000	負債・純資産合計	80,243,996
資産合計	80,243,996		

2 損益計算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
事業収入金	115,726,562	
店 売 上	35,233,555	
小 倉 城 関 連 売 上	196,080,691	347,040,808
【売上原価】		
期首棚卸高	2,723,207	
小 倉 城 関 連 売 上 原 価	12,020,058	
仕 入 高	28,226,140	
※ 合 計 ※	42,969,405	
期末棚卸高	▲2,610,887	40,358,518
売上総利益金額		306,682,290
【販売費及び一般管理費】		300,630,902
営業利益金額		6,051,388
【営業外収益】		
受取利息	11,296	
雑 収 入	905,626	916,922
【営業外費用】		
支払利息割引料	130,825	
雑 損 失	3,714	134,539
経常利益金額		6,833,771
税引前当期純利益金額		6,833,771
法人税、住民税及び事業税		2,450,000
当期純利益金額		4,383,771

IV 平成 26 年度事業計画

「北九州市中心市街地活性化基本計画」(小倉地区・黒崎地区)が平成 26 年 3 月末で終了したものの、今後もまちの賑わいに資するべく「中心市街地活性化事業」として今まで手がけてきた事業を継続する。

事業内容としては、①中心市街地活性化事業、②賑わいづくり事務局業務、③北九州市からの受託事業、④指定管理者業務、⑤「ニューながしまフード」事業、⑥「サンリオ小倉ビル」事業を進め、これらの活動を通して、引き続き小倉・黒崎地区の賑わいづくり・活性化に寄与する。

「北九州市からの受託事業」については、黒崎地区における体制を見直し、人員の削減や業務委託による外部発注などを通じてコスト削減に努めるとともに、小倉地区においては、昨年同様、他の商店街支援補助金などを活用する。

また、「指定管理業務」(小倉城・小倉城庭園・水環境館)については、今年度も年間を通じて様々なイベント・講習会を開催することを予定しているものの、小倉城が本年 9 月まで休館となることから、人員体制を見直し、運営費の削減に努める。

さらに、「ニューながしまフード」は、黒崎地区での大型商業店舗の開業が予定されており、消費税増税と併せて、さらに厳しい経営を迫られている状況であるが、黒崎エリアの商店街の活性化のためにも、仕入価格を抑えつつ売れ筋商品を中心に品揃えや配置の見直し等の対策を講じるとともに、人員体制の見直しによる運営費を削減し、黒字の確保を図る。

また、「サンリオ小倉ビル」は、1 階テナントからの安定的な賃料を得るとともに、2 階テナントの有料託児人数を増やすための PR 活動の推進等のサポートを行うほか、3 階多目的スペースにおいても、「子育て支援講座」などへの貸し出し等を通じ、安定的な賃料収入につながるよう努める。

V 役員名簿

平成 26 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利 島 康 司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原 田 康	北九州商工会議所副会頭
専務取締役	二 郎 丸 聡 夫	北九州商工会議所事務局長
取締役	甲 山 博 美	小倉中央商業連合会理事長
取締役	横 矢 順 二	北九州市小倉北区長
取締役	岡 田 孝 徳	北九州商工会議所小倉サービスセンター担当部長
監査役	前 川 義 広	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長